

同窓生シリーズ

(24)



第19回生 太田君子氏

昭和23年 世田谷区生まれ
 昭和42年 本校卒業
 昭和42～45年 兼松江商勤務
 昭和45年 共立女子短大英語科卒業
 昭和45～47年 福島中央テレビ
 アナウンサー
 昭和47～51年 テレビ神奈川
 アナウンサー

をしました。

三年間現代国語の先生

だった佐藤先生が国語の

時間には「中川(旧姓)

おまえ読め」って、いつ

も朗読をさせてくださっ

たんです。そういうこと

が励みになってアナウン

サーになった気がします。

高校を卒業してからは？

父の会社が倒産してし

まったため就職しました。

でもやはり大学に行きた

くて共立女子短大に夜間

部があるのを知り、二年

間働ながら英文科に通

いました。卒業後はアナ

ウンサーとしてテレビ局

に入り福島で二年、神奈

川で四年勤め

ました。

主人は新宿

川で四年勤め

ました。

主人は新宿

高校の同期生

の友人でした。

五十二年の九

月に出会って

十二月に結婚

電光石火の結

婚でした。電

話の声のき

れいな、さわやかな印象

だったんです。

現在どんな活動を

していますか？

今子供は女の子二人で

すが次女が脳性麻痺とい

う障害を持っていること

から障害児に関わる活動

をするようになりました。

娘の成長のためには、早

くから集団の中で育てた

子から川崎の多摩区西三

田団地に引っ越ししました。

三田保育園に五年、小学

校は地元の三田小学校に

行きました。そこには障

害児学級がなかったの

で、つくってもらいました。

川崎市は要望があればわ

りあいスムーズにつくつ

てくれます。

ラッキーなことにその

小学校には、できて十年

の「ことばの教室」とい

うのがあり、そこに入れ

ていただけたおかげで入

学の際には片言しか話せ

なかった娘が中一の今は

人と対話できるようにま

でなりました。

そこに集まる親達がつ

くった「言語障害児の教

育の促進する会」という

多摩区、麻生区に養護

学校をつくってほしいと

いう運動もしていますが、

私の娘には間にあいま

せんでこの春からは県立

高津養護学校に通わせる

ことに決め、昨年、学校

の近くのこちらに引っ越

してきました。今度は県

下の養護学校に一人ずつ、

ことばの専門の先生を付

けてもらえればと夢を膨

らませています。

このように主婦が何か

公的に発言をする場合、

P T Aの副会長という肩

書が役に立ちましたね。

P T Aの役をする人はみ

んなの意見をまとめるパ

ランスのよい人、と認め

てもらえるようです。

これからもフリーのア

多摩区、麻生区に養護

学校をつくってほしいと

いう運動もしていますが、

私の娘には間にあいま

せんでこの春からは県立

高津養護学校に通わせる

ことに決め、昨年、学校

の近くのこちらに引っ越

してきました。今度は県

下の養護学校に一人ずつ、

ことばの専門の先生を付

けてもらえればと夢を膨

らませています。

このように主婦が何か

公的に発言をする場合、

P T Aの副会長という肩

書が役に立ちましたね。

P T Aの役をする人はみ

んなの意見をまとめるパ

ランスのよい人、と認め

てもらえるようです。

これからもフリーのア

今の親達に

言いたいこと

子供もそれなりに一生

懸命生きてるんです。

子供が自分で考えてやり

たいということはやらせ

た方がいいです。失敗を

恐れて抑えつけないで。

失敗こそ勉強だと思っ

ても空しくつらいこ

とも自分で立ち向かって

いかなければならないで

しょう。そのための生活

力をつけてあげるのが親

の役割ではないかしら。

何でも要求を聞いてしま

うのでなく我慢させるこ

とも大事ですよ。

いろいろな人生がある

けれど、めげないで生き

ている人がいるというこ

とも知ってほしいと思

います。

